



国際経営学科の協定校



明治学院大学 経済学部 国際経営学科

INTERNATIONAL BUSINESS

この世界の経済は、どうやって動いているのか。世界の広さを知る学び。



■ イギリス・オックスフォード市

オックスフォード大学ハートフォードカレッジ
University of Oxford(Hertford College)

世界最高水準の研究と教育で知られる名門大学。個人指導が教育の中核にあり、次世代のビジネスリーダー育成に力を注いでいる。

■ ポルトガル・リスボン市

ポルトガルカトリック大学
Universidade Católica Portuguesa(UCP)

EUの中でもランキングの高い18学部を擁するポルトガル最大の私立大学。そのロースクールで現地の学生とともにビジネス法を英語で学ぶプログラム。

■ アメリカ・ミネソタ州

ミネソタ州立大学マンケート校
Minnesota State University, Mankato

1868年に創立された、約14,000人の学生が学ぶ同州南部では最大規模の大学。治安の良い小さな町にある広大なキャンパスで、140を超える学部課程を誇る。

■ ニュージーランド・ウェリントン市

ヴィクトリア大学ウェリントン校
Victoria University of Wellington

ニュージーランドで最も古い大学の一つで、学生の約15%が留学生と国際色豊か。キャンパスのあるウェリントンは、気候も温暖で治安もよく人気がある。

■ 韓国・ソウル市

世宗大学校
Sejong University

ソウル中心部に所在する1940年創立のキリスト教主義に基づく私立大学で、経営経済学、社会科学、法学、人工知能融合学など10学部からなる総合大学。

■ アイルランド・ダブリン市

ダブリンシティ大学
Dublin City University

首都ダブリンの市街地から15分の場所にある総合大学。116カ国からの留学生を受け入れ、全学生数の20%を外国人学生が占めている。

■ アメリカ・ハワイ州

ハワイ大学マノア校
University of Hawaii at Manoa

世界140以上の国や地域の学生が学ぶハワイ大学システムの本校。NPOのボランティアなどをしながら実践的な英語を学ぶ「サービスマーケティング」が特徴的。

■ オーストラリア・メルボルン市

ロイヤルメルボルン工科大学
Royal Melbourne Institute of Technology

メルボルン市内中心部に位置し、デザインや建築の分野でオーストラリアトップを誇る。最新テクノロジーを取り入れた近代的、且つ独創的な校舎が特徴。

■ 台湾・台北市

東呉大学
Soochow University

米国メソジスト派の流れをくむ、台湾を代表する伝統校。5学院23学科の中でも、法律学科と会計学科は歴史が古く、高い評価と実績を誇る。

■ 韓国・浦項市

韓東大学校
Handong Global University

世界50カ国から多くの留学生を受け入れているキリスト教主義に基づくグローバル大学。国連United Nations Academic Impact (UNAI) の10ハブ大学でもある。

■ クロアチア・ザグレブ市

ザグレブ経済経営大学
Zagreb School of Economics and Management

ビジネスリーダーの育成に重点を置く、国際的なビジネススクール。海外での経験豊富な教授陣によって、世界トップクラスの教育を提供する。

■ アメリカ・カリフォルニア州

カリフォルニア大学リバーサイド校
University of California, Riverside

カリフォルニア大学10校の1つで、ロサンゼルスより車でおよそ60分の場所にある。社会科学、経営学などが人気。小規模で、密度の濃い教育に定評がある。

■ オーストラリア・西オーストラリア州

西オーストラリア大学
University of Western Australia

世界一美しい都市とも言われるパースにある、オーストラリアトップ8大学の1つ。附属の語学学校での授業には定評があり、フォーマルな英語を学ぶことができる。

■ ベトナム・ハノイ市

国民経済大学
National Economics University, Hanoi

首都ハノイにあるビジネススクール。専門の講義はすべて英語で、現地教授陣はもとより、国外から招かれた教授たちが国際的な講義を提供する。



*協定校は随時変更の可能性があります。*詳細は学部ホームページをご覧ください。

ver.2023

留学のすすめ 自分の変化や成長を強く実感したイギリス留学

国際経営学科 長島寧々

私は2022年10月から2023年3月までの5カ月間、イギリスのオックスフォード大学ハートフォードカレッジに留学していました。私は自分の英語力にあまり自信がありませんでしたが、世界でもトップクラスの研究と教育で知られるこの大学で自分を変えたいと思い、オックスフォード大学を選びました。授業では、TOEICなどの英語の勉強以外にもイギリスの歴史・政治・芸術など幅広い分野を学ぶことができました。充実していたのは授業だけではなく。オックスフォード大学には400を超えるクラブ・サークルがあり、中には日本では滅多に経験できないアクティビティもたくさんありました。私はバスケットボール部に入りましたが、友達もたくさんできましたし英語を喋る機会も格段に増えました。私にとって

イギリスで過ごした5カ月間は、毎日が選択と挑戦の連続でした。何がしたいか、どうなりたいか、どれを選ぶかは全部自分次第です。今まで見たことの無いもの、やったことが無いもの、楽しそうだと思うものがそこら中に溢れていて、その全てが私自身を成長させてくれました。もちろん全部が初めから上手くいったわけではなく、悩むことも落ち込むこともたくさんありました。しかし、自分の選択に後悔したことは一度もありません。この留学を経て、これやってみたい!これ面白そう!と思ったものに積極的に挑戦できるようになりました。もしこれを読んでいる人の中に、少しでも留学に興味がある人がいたら迷わず挑戦してほしいと思います!

留学先 : イギリス・オックスフォード大学
ハートフォードカレッジ
留学期間 : 2022年10月~2023年3月



明治学院大学 経済学部 国際経営学科

INTERNATIONAL BUSINESS
Meiji Gakuin University
THE FACULTY OF ECONOMICS

横浜キャンパス 〒244-8539 神奈川県横浜市戸塚区上倉田町1518 TEL 045-863-2007 (代表)
白金キャンパス 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 TEL 03-5421-5111 (代表)

入試についてのお問い合わせは「入学インフォメーション」へ

月~金曜日の午前9時~午後4時、土曜日は正午まで。ただし祝日は除きます。 TEL 03-5421-5151

明治学院大学ホームページ <https://www.meijigakuin.ac.jp/>
経済学部オリジナルホームページ <https://econ.meijigakuin.ac.jp/>

本誌に掲載した学生・卒業生のコメント内容等は取材当時のものです。

世界のスケール感を体感し、 真のグローバル人材を目指す学び。

経済・企業のグローバル化、経営資源のボーダーレス化…。

国際経営学科では、世界にフィールドを広げて活躍できる「グローバル人材」の育成に力を入れ、

そのために必要な能力を体系的に学ぶことができるカリキュラムを提供しています。

グローバル人材に求められる能力

● 専門能力

経済・企業に関する専門的な領域に関する基本的、そして応用可能な知識。

● 学習能力

変化の激しい環境では、そうした状況の下でも適切に情報を収集し、分析でき、判断できる能力が不可欠となる。

● グローバル・コミュニケーション能力

流暢でなくても、国際語である英語で意思疎通ができるコミュニケーション力を持つ。

● グローバル体験

日本とは異なる環境を受容できる経験をもち、冷静かつ的確に行動できる。



留学前

1年次～2年次春

基礎的な学びを積み重ね、地盤固めを行う

留学先での学びを将来のキャリアに活かすには、出発までの1年半が重要です。語学力はもとより、グローバルなビジネスの現場で必要とされる経済学・会計ファイナンス・貿易に関わる専門知識を入門レベルから段階的に習得し、基礎力を身につけます。そのほか、

少人数のディスカッション形式で グローバル企業の動向について学ぶ。

国内外問わず、企業の動向について、グループごとに調査・研究し、成果を発表します。活発なディスカッションを通して、自らの力で問題解決にむけて考えぬき、資料をまとめ上げる力を養います。

外国語スキルを向上させる、 多彩なプログラムを用意。

ネイティブ教員によるディスカッション形式の授業のほか、ビジネス英語、読解力を磨く「外国書講読」、オンラインでいつでも学べる「e-learning」など多彩なプログラムを整えています。



統計データを駆使する「データ分析入門」、問題解決能力やプレゼンテーション能力のための「基礎演習」、留学の機会を将来に活かすための方法を考える「Preparation for Study Abroad」も、不可欠なスキルが得られます。

国際的視点から問題解決を図る 思考法を身につける。

グローバル企業が抱える問題をケースに、なぜその選択を実施したか、ほかにはどのような策が考えられるかなど、実践的に学び、考えを深めます。

世界市場のニーズ、 マーケットの構造について「英語」で学ぶ。

ビジネスプレゼンテーションから財務諸表の書き方、市場理解まで、ビジネスにおける知識を「英語」で学び、2年次の留学に備えます。



留学後～卒業後

3年次～

グローバル人材として羽ばたく

留学後は、それぞれのキャリア設計にあわせて、M&S（経営全般）、A&F（金融財務）、T&I（貿易と産業組織）の3つのコースから専門分野を選択し、国際経営ならではの学びを深化させます。演習もその一つです。同時に、貴重な留学経験をブラッシュアップさせるための科目も準備しています。英語で専門を講義する「国際経営学特講」、海外でのフィールドスタディやインターンシップなど、グローバルなビジネスを実感できる講義は、皆さんの将来のチャンスを拡大するはずです。

留学後

世界のマーケット（現場のいま）を共有する。

帰国後は報告会を実施し、留学先で行った市場調査の結果を発表。各自の成果を共有することで、市場やニーズについての理解を深めます。

海外の大学教員による講義を実施。

海外の博士号を有す大学教員をお招きし、講義を提供してもらっています。語学力の強化はもちろんのこと、海外の先端的な知識を獲得することで更なる学びの機会を得ることができます。

海外でさらに学びを深める多彩なプログラム。

海外フィールドワークや海外インターンシップ、全学の制度である交換留学など、自分のテーマを海外で追究する機会が整っています。

卒業後

国際経営学科で養われた世界を捉える広い視野で、卒業生の活躍の場が広がっています。

活躍の舞台

- 日本企業で海外戦略に関わる仕事
- 外資系企業での国内外の仕事
- 日本企業の海外支店・支社での仕事
- 専門的な知識・資格を活かしたグローバルな仕事

卒業後、ビジネススクール進学 ▶ コンサルティング会社内定

スペイン留学・現地企業でのインターン経験 ▶ Webサービス会社内定

留学先でのプロジェクト立ち上げ経験 ▶ 外国人向け人材派遣会社内定



全員留学

2年次秋・4～5カ月間

多言語および多様な地域で国際ビジネスを体感

グローバル人材に不可欠な4つの能力のうち、グローバル・コミュニケーション力とグローバル体験の2つを強化するために、2年次秋学期に、原則として、全員が留学を体験し、現地で語学研修はもとより経済学やビジネス関連の専門科目の勉強や市場調査をおこないます。留学中は、それぞれの国の文化や習慣、購買行動を

日本のビジネスパートナーとして重要視される 国々を中心に、協定校を選定。

留学先となる協定校は、欧米からアジアまで分布しています。留学先で得た友人たちは、将来のパートナーとなってほしいという思いが込められています。

留学先では現地のマーケット調査を必修とする。

留学中は市場調査を必修とし、商品スタイルや売り方などをリサーチ。また、現地スタッフによるレクチャーを聴くなど、現場の“いま”を体感します。



留学先の大学に通い、 「語学」+「専門分野」を学ぶ。

現地教授陣によるビジネス英語や専門分野（経済、経営、会計）を受講。また、現地学生との交流を通して、コミュニケーション力を高めます。

現地のボランティアに 参加できる。

留学先で学生が主体的に探す必要はありますが、毎年、現地のボランティアを経験してくる学生が見受けられます。



ベトナムでのDog Protectionの活動中

新たな出会いから広がる世界がある。
発見に満ちた唯一無二の留学体験。

STUDENTS



4年生 小和瀬 美香

留学先 | ミネソタ州立大学 マンケート校
(アメリカ合衆国)
内定先 | 第一生命保険株式会社



3年生 君塚 紗羅

留学先 | カリフォルニア大学 リバーサイド校
(アメリカ合衆国)



3年生 竹内 健悟

留学先 | カリフォルニア大学 リバーサイド校
(アメリカ合衆国)



4年生 糸井 涼子

留学先 | ガリシア大学
(スペイン)
内定先 | Amazon Japan



4年生 藤本 哲平

留学先 | ザグレブ経済経営大学
(クロアチア)
内定先 | 株式会社クイック



4年生 坂本 詩織

留学先 | ザグレブ経済経営大学(クロアチア)
ゾイド大学(オランダ)
内定先 | パソナグループ



3年生 坂本 龍之介

留学先 | ワシントン大学
(アメリカ合衆国)



4年生 北村 実沙

留学先 | ワシントン大学
(アメリカ合衆国)
内定先 | 第一生命保険株式会社



卒業生 清水 隼人

慶應ビジネススクール在学中
内定先 | デロイト・トーマツグループ



STUDENT'S

Talk

国際経営学科生 座談会

国際経営学科では、自分の学びたいことやキャリアパスに合わせて留学先を選択することができます。実際に留学を経験した3～4年生と、大学での学びを経て新たな道を歩み出した卒業生に話を聞きました。

その留学先を選んだ理由は？

- **小和瀬** 大学1年の説明会で話を聞いて、一番勉強の環境が整っていると思いました。部活の先輩もこちらに留学した方がいて、その話を聞くことができたのも決め手になりました。
- **坂本(詩)** クロアチア4カ月、オランダには1年行きました。クロアチアには1年の時に知人がいたので、一人旅をした時に、ここで勉強したいと思いました。その際にクロアチア人が日本で働きたくてもチャンスが無いという現実を知り、移民大国であるオランダに留学を決めました。
- **坂本(龍)** 会計士取得後のキャリアを考えた時に、コンサルティング系を目指したいと思っていました。それには海外のMBAで学ぶのが一番と考え、ワシントン大学に決めました。
- **竹内** マーケティングに興味があったので、ディズニーのマーケティングを学べること。またウォルト・ディズニー・ワールドでの半年間のインターンシップが組み込まれており、世界の様々な国籍の人たちと働ける環境もなかなか無いと思ったので決めました。
- **君塚** 大学を決める時点で、このプログラムに参加することを決めていました。私は高校も国際系の

学校だったので、語学習得ではなく、語学を使って何ができるかを考えて、この学部を選び留学先も決めました。

- **藤本** 最初はクロアチアに行くつもりはなかったのですが、語学学校ではなく本科で学べることを知り、この留学先に決めました。
- **北村** 留学先がITベンチャー企業で注目されているシアトルだったので、最先端の様々なビジネスを直接見る機会があると思い決めました。
- **糸井** 私は高校の時に、アメリカに留学していたので、もう一カ国語を学ぼうと思ってスペインを留学先に決めました。スペイン語は大学の第二外国語の授業だけだったので、それだけでは足りないと思い、留学前にスペイン語の塾にも通いました。

実際に留学していかがでしたか？

- **坂本(詩)** クロアチアは授業は英語なのですが、日常生活では英語が通じません。特に年配の人に全く通じないのには苦労しました。しかし留学中に、自分自身の夢を見つけることができたのは良かったと思っています。
- **藤本** そうですね。英語が通じない分、グローバルコミュニケーションをいかにとるか。ジェスチャーやドイツ語を調べて、会話をする努力をしました。クロアチアでは日本人が珍しいらしく、街中で歩いているだけで声をかけられたり。タクシーに乗ったら3回ぐらい無料にしてくれたことがありました(笑)。
- **糸井** スペイン語で経済学を学びましたが、分からないことがあると先生に英語で質問して、スペイ

- ン語で答えが返って来たりとか…(笑)。ホームステイ先のホストファミリーがスペイン語しか話せなかったの、その点はコミュニケーションを取るのに苦労しました。
- **小和瀬** 現地の大学の授業は留学前のTOEFLの得点で3クラスに分けられました。私はトップのクラスに入れたのですが、他国の留学生が流暢に英語で会話できるのに対して、日本人の私は文法は得意でしたが会話が苦手…。慣れるまでは苦労しました。
- **坂本(龍)** 友達とゲームなどをするのではなく、会話の時間が多かったのが良かったです。
- **竹内** 色々な国の人のホスピタリティを感じ、コミュニケーションを取ることができたのが良かったです。私が日本語のレッスンをしたり、スペイン人からは絶対にネイティブしかしゃべらないスペイン語を教えてもらえたり(笑)。
- **北村** そうですね。私も友達がたくさんできたのは嬉しかったですね。全く違う国で自分と違う経験をしている人と友達になれたのは人生にプラスになりました。
- **君塚** 私はホームステイをしたことで、アメリカに別の家族ができたことが嬉しかったです。インターン先の職場の人は「息子と結婚してグリーンカード取りなさい」とまで言ってくれました(笑)。

留学は就職にどのように活かされましたか？

- **糸井** eコマースの企業に内定をもらえました。英語以外の語学に触れた経験がある学生が少な

- い中、スペインへ留学し現地企業でのインターンの経験を積んでいたというのは、就職に有利だったと思います。
- **坂本(詩)** 人材派遣会社の中で唯一グローバル事業部があるというところに興味を持って就職先を決めました。留学先のオランダでは、災害被災者のためのチャリティープロジェクトを立上げ、プロジェクトリーダーを務めました。プロジェクトを運営する上で、国籍を越えて協力するところを実践し、それをアピールできたのが良かったと思います。
- **藤本** 人材紹介会社に就職内定しています。クロアチアは日本人にはあまりなじみのない国なので、就職の面接でも色々と質問をされました。また本科で経営学を学び、プロモーションの授業で販売促進を考えてプレゼンした経験は、就職に役立ったと思います。
- **北村** 生命保険会社の中で一番海外事業に力を入れている会社決めました。試験の際にチームワークを見ている企業は多いと思います。私は多国籍で、考え方の違いや価値観違いなどがある中でチームワーク形成を経験しており、それが就職試験でも発揮できたのは大きかったと思います。

ゼミで学んだことは？

- **清水** 1年生までは体系的な経済、経営を学び、3年生になって自分の伸ばしたい部分を伸ばせました。特にファイナンスを学ぶことで、就職活動の際も企業を俯瞰して見ることができました。

- **小和瀬** ゼミでは就職について、先輩の体験談を伺う機会があったのはとても良かったです。
- **坂本(龍)** 会計士の勉強は知識なのですが、ゼミでは会計のことを知ったうえで、それが企業の財務支援にどのように生かせるか学びました。
- **藤本** CSRについて学んでいました。3年生の時にまず一本の論文を仕上げ、他大学と共同でその論文の発表会をしたり、企業の方が集まる場でも発表しました。論文を仕上げる力、プレゼン力がついたのもゼミのおかげです。
- **北村** 3年生の時に、日本の老舗企業と伝統工芸の今後のグローバル化について研究しました。それら企業の経営者の方々とインタビューを通じて接することができたのは、ゼミをやって良かったと思います。
- **糸井** 私はイタリアキリスト教のゼミですが、先生がイタリアに住んでいた方で、聖書を読みながら人間の行動などを学びました。毎回プレゼンをして人に伝える力、特に日本人だけでなく外国人に対してどのように伝えたら良いかを学びました。

国際経営学科では、一人ひとりの学生が夢を実現できるようサポートを行っています。また、それぞれの夢を持つ仲間達との出会いは、かけがえのない経験となるはず。様々な人・文化・考え方に触れることで、新たな目標に出会い、次のステージへと歩み始めた学生達。これからは、日本国内に留まらず、世界を舞台に活躍してくれることを期待しています。